

平成 27 年度第 2 回
鹿島地区新高校
設置準備委員会
(資料)

平成 27 年 7 月 27 日
佐賀県教育委員会

目次

	頁	
資料 1	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次)第1回新高校設置準備委員会報告まとめ・・・・・・・・・・	1
資料 2	めざす学校像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
資料 3	鹿島・藤津地区の学科の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
資料 4	今後の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
資料 5	新高校設置準備委員会設置要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
資料 6	鹿島地区新高校設置に向けた検討体制・・・・・・・・・・・・・・・・	30
資料 7	鹿島地区新高校設置準備委員会委員構成・・・・・・・・・・・・	31

資料1 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）

第1回新高校設置準備委員会報告まとめ

1 開催日時・場所等

地区及び再編対象校	開催日時・場所	委員
杵島地区 ・ 白石高校 ・ 杵島商業高校	平成27年 5月26日（火） 10時～11時25分 白石高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 12人 県教育委員会関係委員 8人
伊万里地区 ・ 伊万里農林高校 ・ 伊万里商業高校	平成27年 5月27日（水） 15時30分～17時 伊万里農林高校 視聴覚室	学校関係委員 4人 地域関係委員 7人 県教育委員会関係委員 8人
唐津地区 ・ 厳木高校	平成27年 5月28日（木） 9時30分～11時 厳木高校 同窓会館	学校関係委員 3人 地域関係委員 5人 県教育委員会関係委員 9人
嬉野地区 ・ 塩田工業高校 ・ 嬉野高校	平成27年 5月28日（木） 15時～16時30分 塩田工業高校 視聴覚室	学校関係委員 4人 地域関係委員 10人 県教育委員会関係委員 8人
鹿島地区 ・ 鹿島高校 ・ 鹿島実業高校	平成27年 6月1日（月） 15時～16時35分 鹿島高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 11人 県教育委員会関係委員 8人

2 主な意見等

地区	主な意見等
杵島地区	<ul style="list-style-type: none"> 校舎制は初めての取組でイメージがわきにくいですが、先進的な事例も踏まえた具体的な提案をお願いしたい。 新高校に関する議論と並行して、現在の杵島商業高校、白石高校の生徒の今後に関して、意見を言う場を作ってほしい。 全国と比べて、佐賀県は普通科の比率が低い。グローバル化や産業技術の高度化への対応において、基礎基本の学力の重要性を踏まえて新高校を作ってほしい。 今までにない夢のある学校、生徒が集まるような学校をイメージしてほしい。
伊万里地区	<ul style="list-style-type: none"> 両校を合わせれば、他に類を見ない、おもしろい学校になると思う。卒業生がなるべく地元に残るような実業高校ができればと思う。 単位のとり方について、商業科の生徒が農業科の事も学べるようなカリキュラム編成ができれば、（新高校としての）個性が出せると思う。 人材育成については、地域ニーズを分析することが必要である。 進学する高校を選択するときに、部活動で選ぶ子どももいる。再編によって部活動の選択幅がひろがるのではないかな。

地区	主な意見等
唐津地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校は卒業後の進路保障が大事である。太良高校のようにキャリア教育の推進に重点的に取り組む必要がある。 ・ 地域に根ざした学校に、地域住民がどういった手伝いができるか、その方向性を検討する必要がある。 ・ 発達障害の生徒を指導できる教員の育成も重要である。 ・ 参考とするために、既に取り組を行っている太良高校を視察させてもらいたい。
嬉野地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再編後、更に定員が1クラス減ることを踏まえたビジョンが必要だ。 ・ 再編後の学校を新しい学校としてみてもらわなければならない。校舎制により、足して2で割るのではなく、両校が合わさることでの相乗効果を求めている。 ・ 例えば、工業系列を持つ校舎制の総合学科で、部活動はそれぞれの校舎で分けて実施するとし、市はこれに対して支援を行うというような構想を作っていければと思う。 ・ 地域創生の時代であり、地域の特性を生かし、地域人材を育成できればと思う。
鹿島地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新高校の1クラスの定員を、少人数クラス編制にすることは考えられないか。 ・ 両校の目標である進学と就職両面の充実をいかに図っていくかが最重要事項である。その上で学校としての整合性を保たなければならない ・ 「当面、校舎制」とあるが、できるだけ早く1つの校舎で学ばせてほしい。人間教育にもつながる。 ・ (高校受検で) 学科ごとに第1、第2希望と選べるならば、生徒の選択の幅が広がる。部活動も、質・量ともに充実し、魅力となる。

めざす学校像

1 各高校の教育目標等比較

(1) 教育目標

① 鹿島高校

文言	校訓「至誠・自律・創造」の精神を基調に、人格の完成をめざして人間教育の振興に努めるとともに、心身ともに逞しく、豊かな知性と情操を備えた、地域・国家及び国際社会の発展に貢献できる人材を育成する。
キーワード抽出	○人格の完成 ○人間教育 ○心身ともに逞しい ○豊かな知性と情操（を備える） ○地域・国家・国際社会に貢献できる

② 鹿島実業高校

文言	社会をたくましく生き抜く、人間性と専門性を兼ね備えた職業人を育成する。
キーワード抽出	○社会をたくましく生き抜く（力） ○人間性を備える ○専門性を備える ○職業人（の育成）

(2) 校訓

① 鹿島高校

文言	至誠 … 誠実に生き、人のために社会のために尽くす。 自律 … 自らを律し、心身ともに逞しく自己の成長を図る。 創造 … 知性を磨き、課題に挑戦し未来を自ら創り出す。 (※「至誠一貫 自ら進んで捨石たるに甘んぜよ」(旧制鹿島中学校校訓))
キーワード抽出	○誠実に生きる ○人のために尽くす ○社会のために尽くす ○自らを律する ○心身ともに逞しい ○自己の成長を図る ○知性を磨く ○課題に挑戦する ○未来を自ら創り出す

② 鹿島実業高校

文言	「大志 錬磨 創造」 ・ 大きな志をもち（大志） ・ 日々錬磨し（錬磨） ・ よりよき社会を創造する（創造）
キーワード抽出	○大きな志を持つ ○日々鍛錬する ○よりより社会を創造する

2 キーワード比較

(1) 教育目標に関するもの（〇〇〇を目指す。〇〇〇を行う）

鹿島高校	鹿島実業高校
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域・国家・国際社会の発展に貢献できる人材の育成 ・ 人格の完成を目指した人間教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業人の育成
共通要素	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会（地域～国際社会）に貢献できる人材の育成 ○ 人格の完成を目指した人間教育 	

(2) 育成したい人材に関するもの（〇〇〇人材）

鹿島高校	鹿島実業高校
<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身ともに逞しい ・ 豊かな知性と情操を備える ・ 地域・国家・国際社会に貢献できる ・ 誠実に生きる ・ 人のために社会のために尽くす ・ 自らを律する ・ 自己の成長を図る ・ 知性を磨く ・ 課題に挑戦し、未来を自ら創り出す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会をたくましく生き抜く（力を持つ） ・ 人間性を備える ・ 専門性を備える ・ 職業人 ・ 大きな志を持つ ・ 日々鍛錬する ・ よりよき社会を創造する
共通要素	
<ul style="list-style-type: none"> ○ たくましい（心身、社会を生き抜く力） ○ 豊かな人間性を持つ（豊かな情操、誠実、自律、利他的、挑戦） ○ 専門性を持つ（知性、職業人） ○ よりよき未来社会を創造する（社会のために尽くす、社会への貢献） ○ 成長する（自己の成長を図る、日々鍛錬する、課題に挑戦する） 	

(3) 第1回設置準備委員会の意見より

意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元で育てる ・ 地域の魅力 ・ 地域連携 ・ 生徒が魅力を感じる学校 ・ 触れ合いによる人間教育 ・ 進学、就職両面の充実 ・ 学校としての整合性 ・ 1+1=3
共通要素
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人材を地元で育てる ○ 地域の伝統に根差した教育 ○ 地域連携

3 めざす学校像（案）

【A案】

人格の完成を目指して人間教育の振興に努めるとともに、
心身ともに逞しく社会を生き抜く力を持ち、豊かな人間性と専門性を兼ね備えた、
地域・国家・国際社会に貢献できる人材を育成する学校。

【B案】

- ① 郷土を愛し、地域社会の発展に寄与する人財を育成する学校
- ② 未来を切り拓く心豊かでたくましい人財を育成する学校

【C案】

- ① 長い伝統に根差した地域の信頼と期待に応え、地域を支えるリーダーとなる人材を育成する学校。
- ② 豊かな人間性と知性を備え、正義に生きる高潔な人格を有し、国家社会に貢献する人材を育てる学校。
- ③ 自らの意志で課題に挑戦し、学ぶべき師や友との協働によって、たくましく未来を生きる力を育む学校。

4 他県参考事例（普商併置校）

(1) 宇和島東高等学校（愛媛県）

1 沿革

- 1949年9月- 愛媛県立宇和島第一高等学校と愛媛県立宇和島商業高等学校とを統合して、愛媛県立宇和島東高等学校となる。普通科・商業科を設置
1968年4月- 理数科設置
1993年4月- 情報処理科設置
2002年4月- 情報処理科を情報ビジネス科に学科改編

2 設置学科・募集定員・志願倍率等

学科	募集定員 (H27)	志願倍率		
		H27	H26	H25
普通科	160	1.00	1.01	1.01
理数科				
商業科(商)	80	1.16	1.16	1.10
情報ビジネス科(商)	40	0.78	0.75	0.90

3 進路実績（現役合格延べ数）

卒業年	国公立大	私大	専門学校等	就職
H27	92	235	データなし	26
H26	105	317		18
H25		データなし		35

〈H27の主な合格先〉

国公立大：北海道大(3)、大阪大(1)、神戸大(2)、愛媛大(18)、高知大(6)、香川大(6)
私立大：松山大、阪南大、京都女子大、神戸学院大、立命館大、同志社大、関西大

〈H27の主な就職先〉

トヨタ自動車、ダイキ、四国旅客鉄道、西四国マツダ、JA愛媛南、大垣共立銀行、きら病院

4 部活動 体育系 24、文化系 28

5 教員数 81人（7学級／学年） ※H25年度

6 特色ある取り組み

- ・ 理数科の医療系学部への進学希望者には、生命倫理に関する講座を開設
- ・ 平成25年度よりSSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定（テーマ「リージョナルサイエンス～地域からの挑戦～」）
- ・ 商業科に国公立四年制大学進学希望者向けのⅡ型コースを設定

7 校訓、教育目標等

【校訓】「敬愛・自律・進取」

【教育目標】人格の完成を目指して、敬愛・自律・進取の精神を培い、21世紀をたくましく生きぬく心身ともに健康な生徒の育成に努めます。

(2) 今治北高等学校（愛媛県）

1 沿革

- 1948年 - 学制再編により愛媛県立今治第二高等学校として発足。
 1949年 - 高校再編成により愛媛県立今治北高等学校として開校。
 2005年 - 愛媛県立大三島高等学校が愛媛県立今治北高等学校大三島分校となる。
 2006年 - 硬式野球部が甲子園に初出場を果たす。
 2009年 - 創立110周年。

2 設置学科・募集定員・志願倍率等

学科	募集定員 (H27)	志願倍率			
		H27	H26	H25	
本校	普通科	200	1.06	1.11	1.08
	商業科	40	1.18	1.13	1.25
	情報ビジネス科	40	1.08	0.83	1.15
分校	普通科	40	0.83	0.90	0.35

3 進路実績（現役合格延べ数）

※H27の国公立大合格者数は3月10日現在のもの

卒業年	国公立大	私大	専門学校等	就職
H27	※101			データなし
H26	112	267	67	28
H25	118	273		データなし

〈H26の主な合格先〉

国公立大 : 愛媛大 (21)、高知大 (8)、下関市大 (8)、岡山大 (7)、北九州市大 (6)
 私立大 : 松山大、京都産業大、広島文教女子大、立命館大、関西外大、岡山理科大

〈H25の主な就職先〉

新来島どつく、渦潮電機、日本食研、日本地下石油備蓄、越智今治J A、愛媛信用金庫

4 部活動 体育系 19、文化系 22

5 教員数 53人（7学級／学年） ※H26年度

6 特色ある取り組み

- ・ 1・2年次に大学・専門学校より講師を招き、出張講義を実施
- ・ 夏休みを利用してオープンキャンパスツアー
- ・ 商業科は70%が進学希望（例年10人以上が国公立大に合格）
- ・ 就職については、地元企業をはじめとして卒業生の評価が非常に高く、求人が多い。就職目当てで非常に学力が高い生徒が商業科に入ってくることもある。（入学時の最高・最低点は普商であり変わらず）

7 校訓、教育目標等

【校訓】「自律・創造・敬愛」

【教育方針】国際的視野に立ち、伝統文化を尊重しつつ、たくましく創造的に生きる力と、豊かな人間性を養う。

(3) 武岡台高等学校（鹿児島県）

1 沿革

- 〔 1986年1月 - 新設高等学校設立準備委員会を設置
1987年4月 - 創立 〕

2 設置学科・募集定員・志願倍率等

学科	募集定員 (H27)	志願倍率		
		H27	H26	H25
普通科	240	1.43	1.24	1.15
情報科学科(商・工)	80	1.22	1.24	1.07

※情報科学科は1年途中から情報文系、情報理系の2系列に分かれる。

- ・情報文系（商業系）→情報処理、簿記、会計、プログラミング等、商業系の基礎学習
- ・情報理系（工業系）→情報技術、電子、プログラミング技術、実習等、工業系の情報学習

3 進路実績

※過年度等についての記載なし

卒業年	国公立大	私大	専門学校等	就職
H26	122	294	63	12
H25	108	172	32	20
H24	149	231	58	21

〈H26の主な合格先〉

- 国公立大 : 鹿児島大(51)、熊本大(6)、広島大(3)、九州大(2)、北九大(13)
私立大 : 福岡大、西南大、久留米大、鹿児島国際大、崇城大

4 部活動 体育系 14、文化系 14、同好会等 1

5 教員数 63人（8学級／学年）

6 特色ある取り組み

- ・情報科学科の進学率は90%以上（進学を中心とした指導を行う）
- ・「未来共創プログラム」特別講座を実施（職業人による講話と大学教官による出前講義の合同企画）
- ・鹿児島大学合格に特化した進学指導

7 校訓、教育目標等

【校訓】「剛・創・寛」

【教育目標】日本国憲法および教育基本法に基づき、平和で民主的な国家及び社会の建設に貢献できる有為な社会人の育成を目指すとともに、自発性や創造性を培い、知・徳・体の調和のとれた心身共に健康で情操豊かな人格の形成を期する。

(4) 小野高等学校（兵庫県）

1 沿革

- 1948年4月 - 兵庫県立小野高等学校と改称。
- 1949年4月 - 兵庫県立小野高等学校・兵庫県立柳桜高等学校統合、学区制実施
普通科3学級（150人）および家庭科1学級（50人）
- 1950年4月 - 商業科1学級設置
- 1995年4月 - 国際経済科1学級設置

2 設置学科・募集定員・志願倍率等

学科	募集定員 (H27)	志願倍率		
		H27	H26	H25
普通科	200	1.08	1.14	1.06
普通科科学総合コース	40	1.10	1.48	1.35
商業科(商)	40	1.05	1.05	1.05
国際経済(商)	40	1.00	1.00	1.05

3 進路実績（現役合格延べ数）

卒業年	国公立大	私大	専門学校等	就職
H27	146	405	6	3
H26	129	426	22	1
H25	127	384	14	データなし

（H27の主な合格先）

- 国公立大：京都大(1)、大阪大(11)、神戸大(11)、筑波大(4)、岡山大(14)、広島大(9)
 私立大：立命館大、同志社大、関西大、近畿大、関西学院大、甲南大、早稲田大

4 部活動 体育系 17、文化系 17

5 教員数 データなし

6 特色ある取り組み

- ・ 普通科科学総合コースにSPPが導入されている（兵庫教育大と連携）
- ・ 専門学科からも多数の国公立大、難関私大合格者を出している
（商業科→大阪大・岡山大等、国際経済科→大阪大・横浜国立大等）

7 校訓、教育目標等

【校是】「明き、浄き、直き誠の心」

【教育目標】理想の人間像を追求し、生きる力と学ぶ力を身につけ、一人ひとりの進路を達成させる。

資料3 鹿島・藤津地区の学科の状況

1 配置

鹿島・藤津地区の学科及び募集定員（640人 16学級規模）

普通科 280人（7学級規模）

（鹿島高校 200人、太良高校 80人）

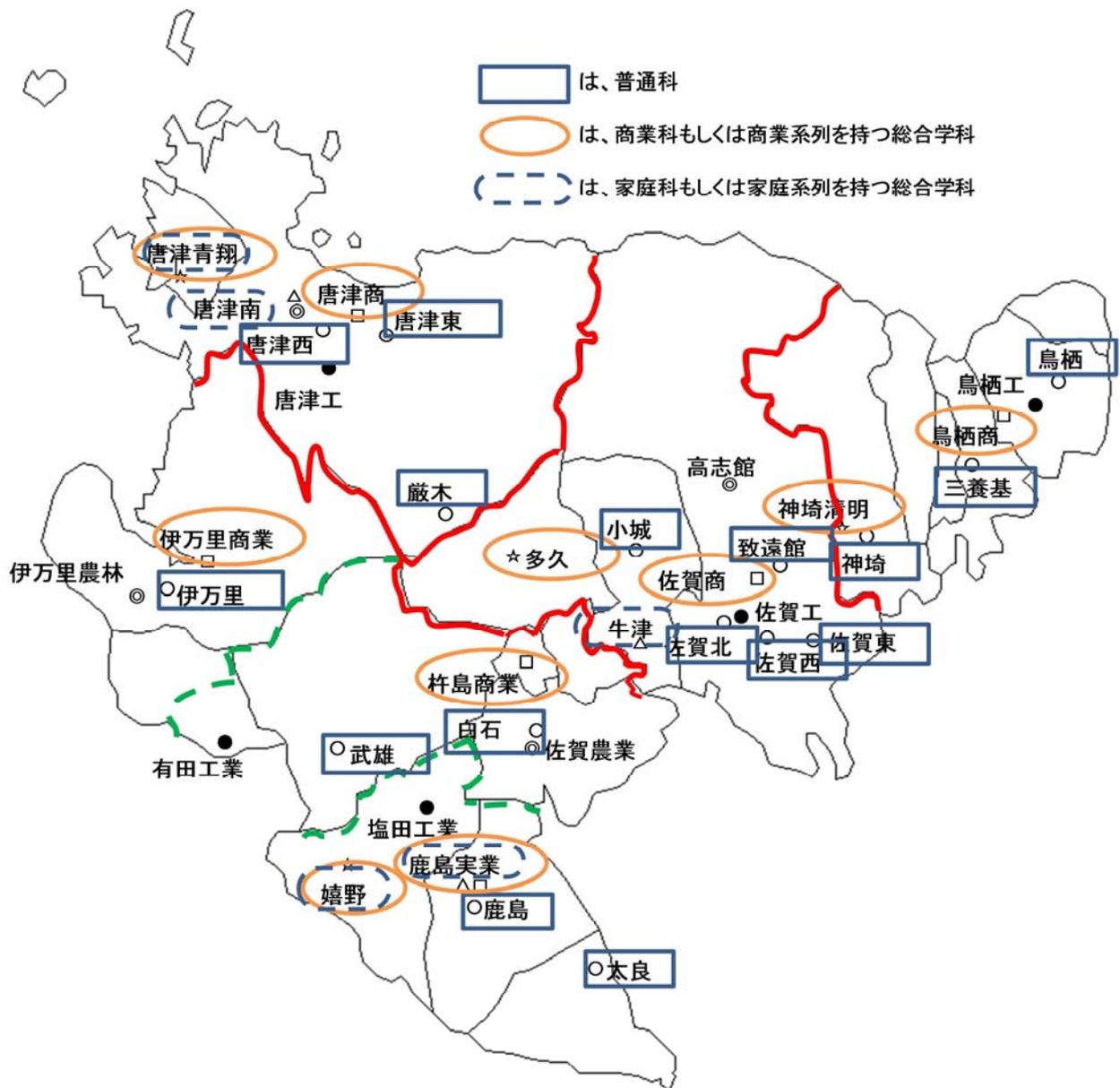
専門学科 240人（6学級規模）

（工業科：塩田工業高校 120人、商業科：鹿島実業高校 80人、家庭科：鹿島実業高校 40人）

総合学科 120人（3学級規模）

（総合学科：嬉野高校 120人）

【普通科、商業科（商業系列を含む）及び家庭科（家庭系列を含む）の全県配置】



2 鹿島・藤津地区の高校別志願状況

① 地区概況

地区	学校名	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生		
		9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般									
鹿島 藤津 地区	鹿島	1.24	1.22	1.12	1.14	1.06	1.01	0.99	1.04	1.04	1.07	1.11	1.10	1.06	1.00	0.98	1.00	0.95	0.93
	太良	0.36	0.34	0.47	0.51	0.58	0.98	0.75	0.85	1.20	0.74	0.74	1.14	0.76	0.75	0.89	0.66	0.84	1.15
	塩田工業	0.87	1.02	1.20	0.71	0.71	0.90	0.71	0.81	1.00	0.74	0.74	0.99	1.00	1.03	1.16	1.00	1.02	1.04
	鹿島実業	1.75	1.60	1.42	1.44	1.49	1.17	1.38	1.33	0.94	1.35	1.30	0.92	1.29	1.22	1.11	1.13	1.03	0.81
	嬉野	0.73	0.84	1.05	1.00	1.09	1.20	1.20	1.13	1.25	1.01	1.08	1.23	0.97	0.86	0.90	0.76	0.78	0.90
西部学区計		1.07	1.07	1.10	1.03	1.03	1.07	1.08	1.08	1.09	1.07	1.08	1.13	1.07	1.06	1.05	1.02	1.01	1.05

※網掛けは1.00倍未満

※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率である。

② 鹿島高校及び鹿島実業高校志願状況(学科別)

学校名	学科	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生		
		9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般									
鹿島	普通科	1.24	1.22	1.12	1.14	1.06	1.01	0.99	1.04	1.04	1.07	1.11	1.10	1.06	1.00	0.98	1.00	0.95	0.93
鹿島実業		1.75	1.60	1.42	1.44	1.49	1.17	1.38	1.33	0.94	1.35	1.30	0.92	1.29	1.22	1.11	1.13	1.03	0.81
	商業科																		
	情報処理科	1.64	1.50	1.47	1.59	1.53	1.17	1.61	1.44	0.91	1.26	1.26	0.88	1.30	1.23	1.09	0.98	0.98	0.76
	食品調理科	1.98	1.80	1.32	1.15	1.43	1.17	0.90	1.13	1.00	1.53	1.38	1.00	1.28	1.20	1.14	1.43	1.13	0.93

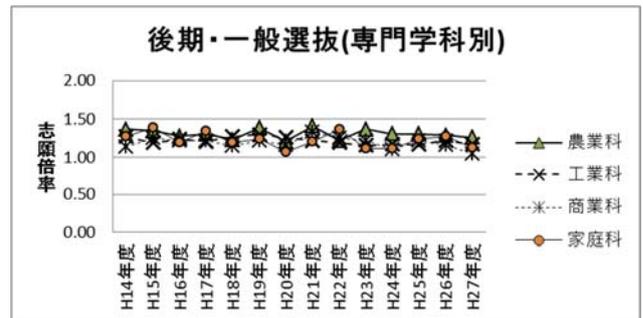
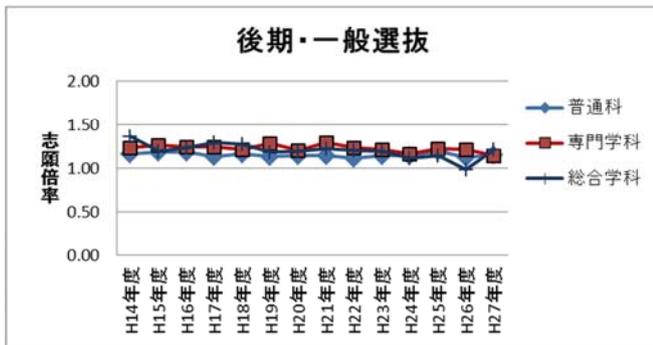
※網掛けは1.00倍未満

※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率である。

【参考1 県全体の学科別志願状況】

後期・一般	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
普通科	1.11	1.14	1.14	1.19	1.12	1.15
専門学科	1.23	1.21	1.16	1.22	1.21	1.14
農業科	1.22	1.37	1.31	1.31	1.29	1.26
工業科	1.19	1.16	1.17	1.17	1.22	1.17
商業科	1.25	1.22	1.10	1.22	1.16	1.05
家庭科	1.37	1.11	1.11	1.24	1.27	1.13
総合学科	1.20	1.19	1.11	1.14	0.98	1.21
県立全体	1.16	1.17	1.15	1.20	1.15	1.15

※ 理数科及び芸術科は普通科に含む。



【参考2 商業科の小学科別志願状況】

大学科	小学科	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生		
		9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般									
商業 <<り募集 は商業系 に含む		1.28	1.24	1.25	1.25	1.25	1.22	1.24	1.20	1.10	1.16	1.19	1.22	1.20	1.14	1.16	1.11	1.10	1.05
	商業系	1.36	1.27	1.24	1.27	1.30	1.27	1.24	1.23	1.10	1.18	1.20	1.21	1.29	1.19	1.18	1.13	1.14	1.09
	情報系	1.02	1.14	1.20	1.20	1.09	1.07	1.21	1.13	1.09	1.06	1.13	1.25	0.90	0.81	1.08	1.04	0.95	0.93
	その他	1.20	1.30	1.68															

※網掛けは1.00倍未満

※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率である。

3 鹿島・藤津地区の中学生の進路状況

鹿島・藤津地区の中学生の進路状況を分析すると、約8割が県内公立高校に進学しており、普通科及び専門学科への進学者数の割合は〈普通科：37% 専門学科：48%〉である（過去5年平均値）。地域としては約7割の生徒が、地元である旧西部学区へ進学している。

鹿島・藤津地区 中卒者進路	全日制			定時制 ・ 通信制	高専 ・ 特別 支援	就職等 左記 以外	卒業 者数
	県内 公立	県内 私立	県外 公私立				
平成23年 3月卒	615	56	15	4	13	15	718
	85.7	7.8	2.1	0.6	1.8	2.1	
平成24年 3月卒	620	73	17	6	11	12	739
	83.9	9.9	2.3	0.8	1.5	1.6	
平成25年 3月卒	638	76	10	10	7	23	764
	83.5	9.9	1.3	1.3	0.9	3.0	
平成26年 3月卒	604	60	22	3	9	17	715
	84.5	8.4	3.1	0.4	1.3	2.4	
平成27年 3月卒	586	51	19	3	7	17	683
	85.8	7.5	2.8	0.4	1.0	2.5	
5年集計	3,063	316	83	26	47	84	3,619
	84.6	8.7	2.3	0.7	1.3	2.3	

※ 鹿島高校及び鹿島実業高校への通学状況

ほとんどが、地元からの入学者である。

	旧東部	旧中部	旧北部	旧西部		県外等
				うち鹿島市		
鹿島高校	0.0	0.9	0.0	98.6	40.3	0.5
鹿島実業高校	0.7	2.2	0.2	96.6	41.8	0.3

注)平成23年～平成27年度の高校1年在籍者の出身中学校を基に、旧学区ごとの割合を示す。(各年度5月1日現在)

4 鹿島高校と鹿島実業高校の高校卒業後の進路状況

① 普通科（鹿島高校）

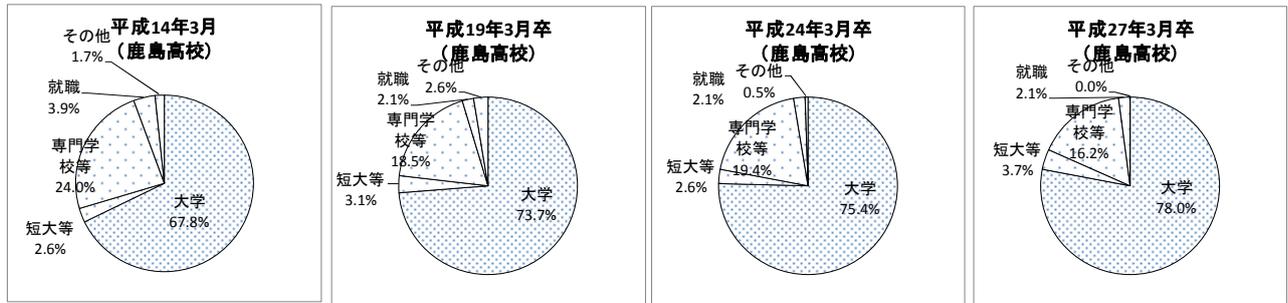
ア 概況

- ・ 大学進学者の割合は、卒業生の約8割近くになる。
- ・ 割合としては低いですが、就職者もおお、公務員が多い。

イ 進路状況

卒業年月	学科	卒業生数	進学者							就職者	自営者	その他
			大学			短期大学			各種・専修学校			
			国立	公立	私立	国立	公立	私立				
平成24年3月	普通科	191	65	9	70	0	1	4	38	4	0	0
平成25年3月	普通科	195	72	22	60	0	2	4	31	3	0	1
平成26年3月	普通科	198	61	18	81	0	1	4	28	4	0	1
平成27年3月	普通科	191	75	19	55	0	2	5	31	4	0	0

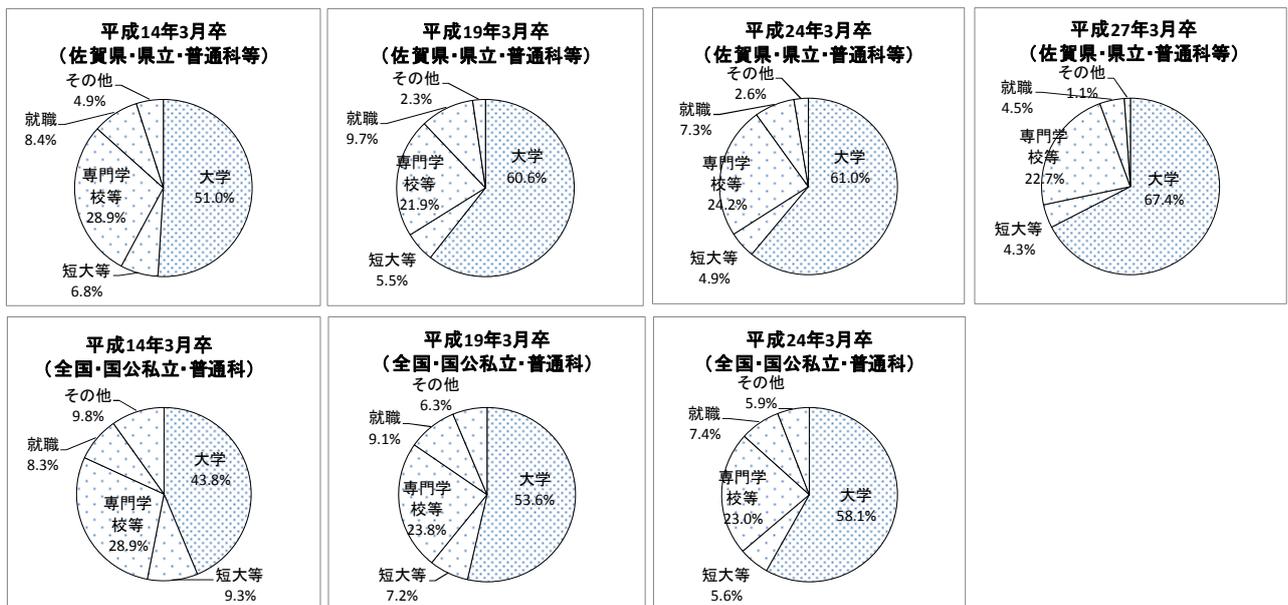
【鹿島高校卒業後の進路状況】



【参考 本県及び全国の普通科卒業後の進路状況】

上段：佐賀県・県立・普通科等

下段：全国・国公立・普通科



② 商業科（鹿島実業高校）

ア 概況 進学者の割合が増加傾向である。これは、商業科の全国的な状況でもある。

イ 進路状況

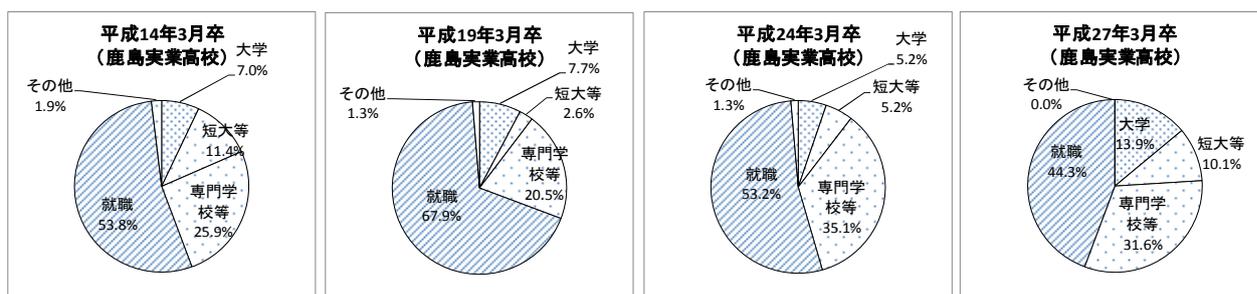
【商業科】

卒業年月	学科	卒業生数	進学者			就職者	自営者	その他
			大学	短大	専門等			
平成24年3月	商業科	39	3	3	18	15	0	0
平成25年3月	商業科	40	3	2	14	20	0	1
平成26年3月	商業科	39	1	2	14	20	1	1
平成27年3月	商業科	40	4	8	10	18	0	0

【情報処理科】

卒業年月	学科	卒業生数	進学者			就職者	自営者	その他
			大学	短大	専門等			
平成24年3月	情報処理科	38	1	1	10	26	0	0
平成25年3月	情報処理科	38	2	2	16	18	0	0
平成26年3月	情報処理科	38	4	2	14	18	0	0
平成27年3月	情報処理科	39	7	0	15	15	2	0

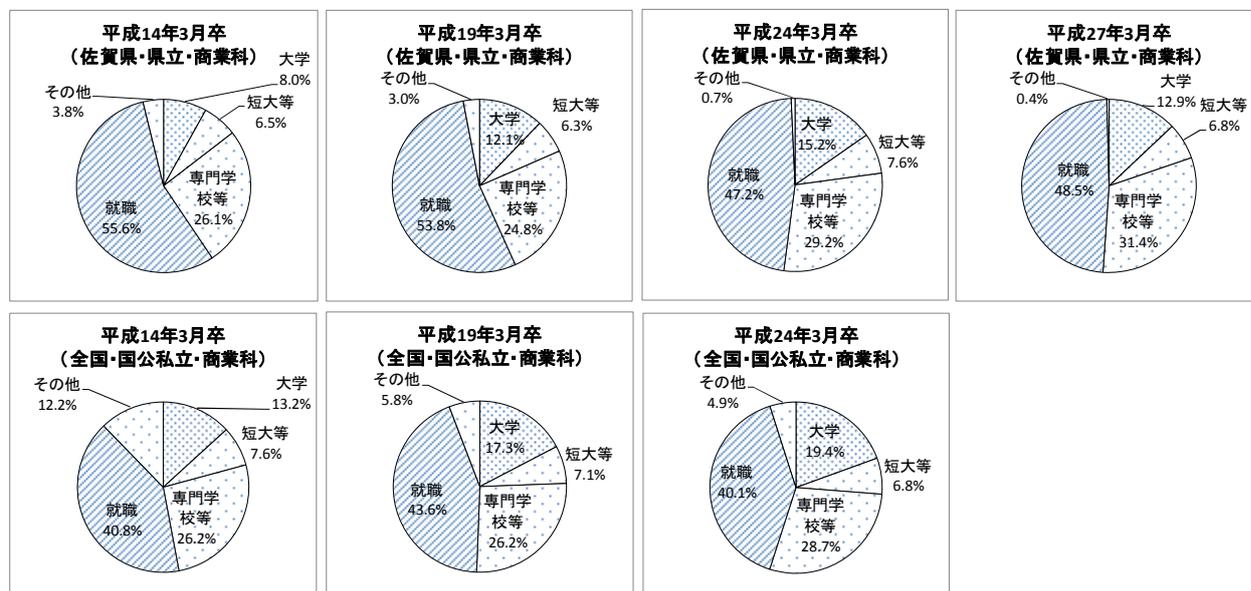
【鹿島実業高校商業科及び情報処理科卒業後の進路状況】



【参考 本県及び全国の商業科卒業後の進路状況】

上段：佐賀県・県立・商業科

下段：全国・国公立・商業科



ウ 産業別進学状況

【商業科】

卒業年月	学科	進学					
		経済・ビジネス系	情報系	調理・栄養系	健康医療看護系	教育	その他
平成24年3月	商業科	4			12	3	4
平成25年3月	商業科	5			6	2	6
平成26年3月	商業科	6	4		3	2	3
平成27年3月	商業科	3	2		5	6	6
商業科 4年合計		18	6	0	26	13	19

【情報処理科】

卒業年月	学科	進学					
		経済・ビジネス系	情報系	調理・栄養系	健康医療看護系	教育	その他
平成24年3月	情報処理科	2			6	1	1
平成25年3月	情報処理科	3	1	1	11	2	2
平成26年3月	情報処理科	6	2		9	1	2
平成27年3月	情報処理科	9	3		6		3
情報処理科 4年合計		20	6	1	32	4	8

エ 産業別就職状況

【商業科】

卒業年月	学科	就職					
		卸売小売	製造	医療福祉	サービス	公務	その他
平成24年3月	商業科	2	6	2	3		3
平成25年3月	商業科	6	8	1	5		1
平成26年3月	商業科	7	7	1	4	1	1
平成27年3月	商業科	2	8	2	4		3
商業科 4年合計		17	29	6	16	1	8

【情報処理科】

卒業年月	学科	就職					
		卸売小売	製造	医療福祉	サービス	公務	その他
平成24年3月	情報処理科	3	7	5	5	1	7
平成25年3月	情報処理科	3	8	4	1		6
平成26年3月	情報処理科	2	7	2	2	1	6
平成27年3月	情報処理科	4	7	5	2	1	2
情報処理科 4年合計		12	29	16	10	3	21

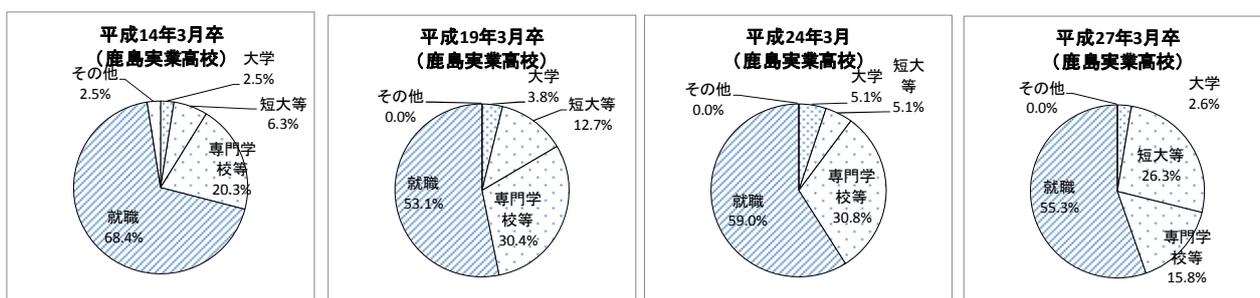
③ 家庭科（鹿島実業高校）

ア 概況 就職が多く、近年は短大進学者が増加。専門学校進学者は減少している。

イ 進路状況

卒業年月	学科	卒業生数	進学者			就職者	自営者	その他
			大学	短大	専門等			
平成24年3月	食品調理科	39	2	2	12	23	0	0
平成25年3月	食品調理科	38	3	8	8	18	0	1
平成26年3月	食品調理科	40	3	6	7	24	0	0
平成27年3月	食品調理科	38	1	10	6	21	0	0

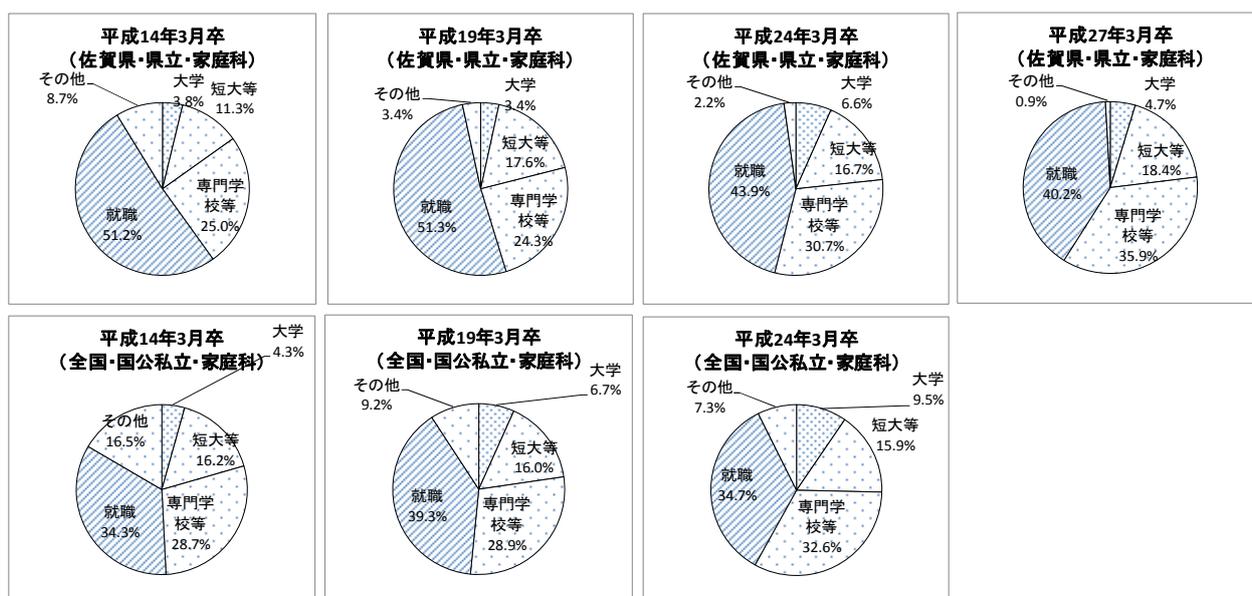
【鹿島実業高校食品調理科卒業後の進路状況】



【参考 本県及び全国の家家庭科卒業後の進路状況】

上段：佐賀県・県立・家庭科

下段：全国・国公立・家庭科



ウ 産業別進学状況

【食品調理科】

卒業年月	学科	進学					
		経済・ビジネス系	情報系	調理・栄養系	健康医療看護系	教育	その他
平成24年3月	食品調理科			9	5		2
平成25年3月	食品調理科	2	1	7	4	3	1
平成26年3月	食品調理科			5	6	3	2
平成27年3月	食品調理科	1		8	4	3	1
	食品調理科 4年合計	3	1	29	19	9	6

エ 産業別就職状況

【食品調理科】

卒業年月	学科	就職					
		卸売小売	製造	医療福祉	サービス	公務	その他
平成24年3月	食品調理科	4	3	7	10	1	
平成25年3月	食品調理科	3	1	5	11		
平成26年3月	食品調理科	3	1	8	14		
平成27年3月	食品調理科	6		9	8	1	
	食品調理科 4年合計	16	5	29	43	2	0

(5) 学科の特色等

①普通科

- ア 1年次から卒業後を見据えたキャリア教育を実践し、2年次からは目指すべき進路に応じて文系と理系に分け、きめ細かな学習指導体制で進路実現を支援します。
- イ 授業とは別に放課後の特課、土曜講座など学力向上と受験対策に特化した学習指導を行い、学習の習慣化と学力向上を支援します。
- ウ 3年次の数学及び英語においては習熟度別の少人数指導体制で授業を行い、それぞれの進路先に応じた学力を身に付けさせます。

【大学現役合格者数の推移】

(単位：人)

卒業年月		H23年3月	H24年3月	H25年3月	H26年3月	H27年3月
国 公 立 大 学	国立大学	64	68	77	67	79
	公立大学	14	15	29	29	26
	合計 (合格率)	78 (39.0%)	83 (41.5%)	106 (53.0%)	96 (48.0%)	105 (52.5%)
私立大学		158	198	235	284	215

※合格率は募集定員ベース

○H27年の主な合格先（現役生）

国公立： 京都大学、筑波大学 2、大阪大学、九州大学 4、広島大学 5、佐賀大学 28
長崎大学 11、熊本大学 8、長崎県立大学 6

私立： 立命館大学 8、西南学院大学 10、福岡大学 59

その他： 中村学園大学短大部、嬉野医療センター附属看護学校、佐賀県立総合看護学院
久留米リハビリテーション学院、佐賀歯科衛生専門学校

② 商業科

ア 学科の目標

- ・ ビジネス社会で、生き抜いていくための基本知識と技能を身につけます（HP より）

イ 求める生徒像（HP より ※商業科、情報処理科共通）

- ・ 簿記、会計などの商業ビジネスや、プログラミングや情報システムなどのコンピュータの活用に興味・関心があり、その知識と技術を深め、高度資格取得に意欲的に取り組む生徒。
- ・ 高い倫理観と責任感を持ち、商業人としての身だしなみ、あいさつ、言葉づかいやビジネスマナーをしっかりと身につけようとする生徒。

ウ 取得できる主な資格

- ・ 日商簿記検定 2 級
- ・ 全商情報処理検定 3 級（ビジネス情報）
- ・ 全商簿記実務検定総合 1 級
- ・ 全商珠算・電卓実務検定 2 級
- ・ 全商商業経済検定 1 級
- ・ 全商ビジネス文書実務検定 3 級

○H27 年の主な進学先・就職先

〈進学〉西九州大学（子ども、健康福祉）、日本文理大学（経営経済）、長崎純心大学（人文）、西九州短大（幼児保育）、九州国際情報ビジネス専門学校、佐賀コンピュータ専門学校、佐賀歯科衛生専門学校、緑生館、武雄看護学校、産業技術学院

〈就職〉キューピー株式会社、株式会社デンソー、トヨタ自動車株式会社、マツダ株式会社、株式会社にしけい、佐賀銀行、佐賀県有明海漁業協同組合、中島建設株式会社

③ 情報処理科

ア 学科の目標

- ・ ICT 社会に対応できるよう、ビジネスの諸活動において情報を活用していくための知識や技能を身に付けます（HP より）

イ 求める生徒像（HP より ※商業科、情報処理科共通）

- ・ 簿記、会計などの商業ビジネスや、プログラミングや情報システムなどのコンピュータの活用に興味・関心があり、その知識と技術を深め、高度資格取得に意欲的に取り組む生徒。
- ・ 高い倫理観と責任感を持ち、商業人としての身だしなみ、あいさつ、言葉づかいやビジネスマナーをしっかりと身につけようとする生徒。

ウ 取得できる主な資格

- ・ IT パスポート試験
- ・ 全商情報処理検定 1 級（ビジネス情報・プログラミング）
- ・ 全商ビジネス文書実務検定 1 級
- ・ 全商簿記実務検定（原価計算 1 級）
- ・ 全商簿記実務検定 2 級
- ・ 全商商業経済検定 2 級
- ・ 全商珠算・電卓実務検定 2 級

○H27 年の主な進学先・就職先

〈進学〉九州産業大学（商、経済）、久留米大学（商、経済）、日本文理大学（経営経済）、麻生情報ビジネス専門学校、九州国際情報ビジネス専門学校、佐賀工業専門学校、福岡医健専門学校、柳川リハビリテーション学院、福岡医療専門学校、武雄看護学校、鹿島藤津地区医師会立看護高等専門学校

〈就職〉山崎製パン、キューピー株式会社、A コープ佐賀、旭九州株式会社、太田医院、佐賀県農業協同組合、東亜工機、祐徳自動車、祐徳薬品工業

④ 食品調理科

ア 学科の目標

- ・ 即戦力になる技術と知識をもった調理師をめざします（HP より）

イ 求める生徒像（HP より）

- ・ 「食」に興味・関心があり、調理や栄養、食品についての専門的な知識・技術を深めようとする意欲のある生徒。また、調理師免許を取得し、スペシャリストを目指す生徒。
- ・ 「食」に対する衛生観念や責任感を持ち、「食」に携わる者としての身だしなみ、あいさつ、言葉づかいやマナーをしっかりと身につけようとする生徒。

ウ 取得できる主な資格

- ・ 調理師免許
- ・ 家庭科食物調理技術検定 1 級
- ・ 技術考査

○H27 年の主な進学先・就職先

- 〈進学〉西九州大学（健康栄養）、西九州短大（食物栄養、幼児保育）、佐賀女子短大（健康福祉）
日本菓子専門学校、九州国際情報ビジネス専門学校、武雄看護学校
- 〈就職〉株式会社孝明、ホテルニューオータニ佐賀、大正屋、トヨタ生活協同組合、志田病院、
高島病院

今後の方向性

1 新実施計画（第1次）における新高校の学科についての基本的な考え方

「現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。」こととしている。

2 新高校の学科について

(1) 現在の学科を基本とした再編後の学科組合せパターン（H30年度7学級規模の場合）

パターン	学科 (大学科)	小学科 コース	定員	学級 数	想定されるメリット・デメリット
パターン1	普通科		200	5	○全ての学科を維持できるため、生徒の多様なニーズに対応できる。 ●商業科と情報処理科は2年次以降、それぞれ実質1学級としての運用を行わなければならない可能性がある。
	商業科	商業	20	0.5	
		情報処理	20	0.5	
家庭科	食品調理	40	1		
パターン2	普通科		200	5	○普通科については従来通りの体制で運用可能。 ●情報処理科が募集停止となることで、教職員定数が4人減（教諭2、実助2）となる。
	商業科	商業	40	1	
	家庭科	食品調理	40	1	
パターン3	普通科		200	5	○普通科については従来通りの体制で運用可能。 ●全県的に情報処理科は定員割れが多くなっており、情報処理科のみになった場合、定員どおりの入学者数を確保できるかが問題となる。
	商業科	情報処理	40	1	
	家庭科	食品調理	40	1	
パターン4	普通科		200	5	○普通科・商業科については従来どおりの体制で運用可能。 ●食品調理科の募集停止については、地域のニーズ及び全県的な学科の配置バランスについての検討が必要。
	商業科	商業	40	1	
		情報処理	40	1	
パターン5	普通科		160	4	○全ての学科を維持できるため、生徒の多様なニーズに対応できる。 ○商業科、家庭科については、これまで通りの体制で運用できる。 ●普通科学級数減により、鹿島地区で大学進学を目指す生徒の受け皿が小さくなる。 ●近年、商業科・家庭科ともに志願者が減少してきており、定員どおりの入学者数を確保できるかが問題となる。
	商業科	商業	40	1	
		情報処理	40	1	
	家庭科	食品調理	40	1	

(2) 特色ある学校づくりについて

① 現在の学科を基本とした新学科・コースの設置・改編

ア 普通系専門学科の設置

- ・ 理数系（理数科など）
- ・ 医療系（メディカルサイエンス〈宮崎・延岡高〉など）
- ・ 語学・国際系（国際文化、国際教養など）
- ・ 文理総合
- ・ 探究系（探究科、探究科学コース〈宮崎・高鍋高、小林高、日南高〉など）
- ・ 芸術系

イ 専門系学科の改編

- ・ 国際系（国際商業科、グローバルビジネス科〈北海道、札幌国際情報高〉など）

② 国の事業

- ・ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）
- ・ スーパーグローバルハイスクール（SGH）
- ・ スーパープロフェッショナルハイスクール（SPH）

③ 国際バカロレア（IB）

④ 進学重視型単位制高校、進学重視型商業高校（東京都）

《参考資料1》

○ 全国の普通科・商業科・家庭科併設高校（都道府県立）

※募集定員はH27年度のもの

1 普通科・商業科・家庭科

都道府県	学校名	学科・定員	形態	開校の経緯
北海道	江別	普通200商業80家庭40		
茨城県	水海道第二	普通120商業80家庭40		
茨城県	潮来	普通120商業40家庭40		
茨城県	竜ヶ崎第二	普通80商業40家庭40		
岐阜県	海津明誠	普通120商業40家庭40		高校再編
愛知県	成章	普通200商業40家庭40		
兵庫県	松陽	普通120商業80家庭40		
福岡県	福島	普通120商業40家庭40		
熊本県	松橋	普通140商業20家庭20		

2 普通科・家庭科・情報科

都道府県	学校名	学科・定員	形態	開校の経緯
三重県	亀山	普通160情報80家庭40		

3 普通科・商業科

都道府県	学校名	学科・定員	形態	開校の経緯
北海道	芦別	普通120商業		高校再編
北海道	岩内	普通120商業40		
北海道	根室	普通120商業80		
北海道	士別翔雲	普通120商業40		高校再編
北海道	中標津	普通160商業80		
北海道	八雲	普通120商業40		
北海道	網走桂陽	普通80商業80		高校再編
北海道	利尻	普通40商業40		
青森県	十和田西	普通35商業35		新設
岩手県	大東	普通120商業40		高校再編
宮城県	塩釜	普通320商業80	校舎制	高校再編
宮城県	志津川	普通120商業40		
宮城県	松島	普通120商業80		
秋田県	大館国際情報学院	普通53商業57		新設
秋田県	平成	普通70商業35		高校再編
山形県	新庄南	普通120商業40普通40	校舎制	
福島県	小名浜	普通80商業40		
福島県	須賀川	普通200商業40		
福島県	猪苗代	普通40商業40		
福島県	保原	普通200商業40		
福島県	本宮	普通120商業80		
茨城県	古河第一	普通80商業200		
茨城県	太田第二	普通80商業40		
茨城県	土浦第三	普通120商業120		
茨城県	那珂湊	普通80商業120		高校再編
栃木県	高根沢	普通80商業120		高校再編
栃木県	足利清風	普通80商業120		高校再編
栃木県	那須	普通120商業40		
埼玉県	鴻巣	普通200商業80		
埼玉県	上尾	普通240商業120		
埼玉県	八潮南	普通80商業160		新設
埼玉県	鳩山	普通120商業80		

東京都	五日市	普通79商業70		
富山県	新湊	普通120商業40		
富山県	石動	普通120商業40		
福井県	敦賀	普通216商業70		
山梨県	塩山	普通150商業60		
長野県	松代	普通80商業120		
長野県	赤穂	普通160商業80		
長野県	辰野	普通120商業40		
岐阜県	武義	普通160商業80		
静岡県	気賀	普通80商業40		
静岡県	清水桜が丘	普通160商業120		高校再編
静岡県	相良	普通80商業120		
静岡県	土肥	普通35商業35		
静岡県	磐田西	普通200商業80		
静岡県	浜松東	普通200商業160		
静岡県	富士宮北	普通160商業80		
愛知県	犬山	普通200商業40		
愛知県	国府	普通280商業40		
愛知県	知立	普通160商業160		
愛知県	津島北	普通160商業160		
愛知県	碧南	普通240商業80		
愛知県	木曾川	普通200商業80		
京都府	大江	普通80商業40		
京都府	網野	普通120商業30		
兵庫県	小野	普通240商業80		
和歌山県	笠田	普通80商業80		
和歌山県	神島	普通160商業160		
島根県	隠岐	普通80商業40		
岡山県	勝山	普通120商業40普通40	校舎制	高校再編
岡山県	矢掛	普通120商業40		高校再編
広島県	竹原	普通80商業40		
山口県	西京	普通160商業80		新設
徳島県	富岡東	普通160商業40	本校	
愛媛県	今治北	普通200商業80	本校	
愛媛県	三島	普通240商業40		
愛媛県	大洲	普通160商業40		
愛媛県	東温	普通240商業80		
愛媛県	八幡浜	普通160商業40		
高知県	山田	普通160商業40		
福岡県	朝倉東	普通80商業120		
長崎県	小浜	普通80商業40		
長崎県	松浦	普通80商業40		
長崎県	対馬	普通160商業40		
長崎県	中五島	普通40商業40		
熊本県	菊池	普通160商業40		
熊本県	甲佐	普通80商業40		
熊本県	八代東	普通40商業160		
熊本県	湧心館	普通120商業40		
鹿児島県	沖永良部	普通80商業40		
鹿児島県	屋久島	普通80商業40		
鹿児島県	蒲生	普通80商業40		
鹿児島県	喜界	普通40商業40		
鹿児島県	種子島中央	普通80商業40		高校再編
鹿児島県	大島北	普通40商業40		
鹿児島県	福山	普通40商業40		新設
鹿児島県	明桜館	普通120商業80		高校再編

《参考資料2》

学科の在り方に係る検討

(1) 背景としての国の動き

- 文部科学省から平成26年6月に出された「初等中等教育分科会高等学校教育部会 審議まとめ～高校教育の質の確保・向上に向けて～」では、高等学校を「進学や就職といった生徒の進路にかかわらず、中学校卒業後のほぼ全ての者が、社会で生きていくために必要となる力を共通して身に付けるとともに、自立に向けた準備期間を提供することのできる最後の教育機関」とし、高校教育の質の確保・向上に関する課題・基本的考え方として、「高校教育としての共通性を確保するとともに、多様な学習ニーズへのきめ細やかな対応が必要」としている。
- 「共通性の確保」については、全ての生徒が共通に身に付けるべき資質・能力として、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を図るとともに、高等学校では、
 - ・ 社会・職業への円滑な移行に必要な力
 - ・ 市民性（市民社会に関する知識理解、社会の一員として参画し貢献する意識など）も重視していくべきとしている。
- また、「多様な学習ニーズへのきめ細やかな対応」については、
 - ＜各学科における課題と対応＞として、
 - ・ 普通科（進路意識の向上や、キャリア・職業教育など学校から社会への円滑な移行推進）
 - ・ 専門学科（社会のニーズに応じた実践的な職業教育推進、高等教育との接続・連携）
 - ・ 総合学科（中学校教職員・保護者の認知度向上）
 - ＜経済社会の変化等への対応＞として、
 - ・ キャリア教育・職業教育の一層の推進（職業観・勤労観を確立するための取組推進）
 - ・ 優れた才能や個性を伸ばす学習機会の提供（ハイレベルな学習機会や切磋琢磨する場の提供）
 - ・ グローバル人材の育成（豊かな語学力・コミュニケーション能力等を身に付けた人材の育成）
 - ・ ICT教育の推進（質の高い学びを実現するための効果的な授業の在り方の検討）等としている。
- また、次のような事業も実施されている。
 - ・ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業
将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、先進的な理数教育を実施する高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール」として指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を支援している。
本県では、致遠館高校が平成18年度より指定を受けている。
 - ・ スーパーグローバルハイスクール（SGH）事業
高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、もって、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図るとしている。
 - ・ スーパープロフェッショナルハイスクール（SPH）事業
全国の高等学校から高度な知識・技能を身に付けた専門的職業人を育成するため、専攻科を含めた5年一貫のカリキュラムの研究や大学・研究機関等との連携など先進的な卓越した取組を行う専門高校（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉の8学科）を指定している。

高等学校の位置付け

進学や就職といった生徒の進路にかかわらず、中学校卒業後のほぼ全ての者が、社会で生きていくために必要となる力を共通して身に付けるとともに、自立に向けた準備期間を提供することのできる最後の教育機関

そのためには…

高校教育としての共通性の確保

「確かな学力」
「豊かな心」
「健やかな体」
+
「社会・職業への円滑な移行に必要な力」
「市民性」

多様な学習ニーズへの対応

・各学科における対応

普通科（進路意識の向上、キャリア教育等）
専門学科（社会のニーズに応じた実践的な職業教育、高等教育との接続・連携）
総合学科（教育内容の理解促進）

・経済社会の変化等への対応

キャリア教育等推進
優れた才能・個性への対応
グローバル人材育成
ICT教育推進 等

国で実施されている事業の例

- ・SSH事業（将来の国際的な科学技術関係人材育成）
- ・SGH事業（将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成）
- ・SPH事業（高度な知識・技能を身に付けた専門的職業人を育成）

(2) 近年の本県の学科在り方に係る検討

- 高校教育改革プロジェクト会議における検討
 - ・ 平成 23 年度 普通科に係る検討 (大学受験力及び学力向上対策についての検討)
 - ・ 平成 23、24 年度 専門学科・総合学科に係る検討
(人材育成に対する企業ニーズ把握のための懇話会実施、学力向上対策についての検討)
 - ・ 平成 25 年度 キャリア教育に係る検討
 - ・ 平成 26 年度 専門学科の在り方検討 (中心的な役割を果たす学校や専攻科についての検討)
- 本年度は、普通科を含む「学科の在り方ワーキンググループ会議」を開催しており、生徒減少期における学科の在り方について検討を行う予定である。

(3) 全国的な取組の例

<普通科等>

- ハイレベルな学習機会や場の提供を行う普通系専門学科を設置
(理数系) 理数、数理科学、応用数理、サイエンスリサーチ、メディカル・サイエンス
(文理総合型) 京都こすもす (人文社会系統、国際文化系統、自然科学系統)
(語学重視型) 国際文化、国際教養、国際コミュニケーション、国際文化情報
(芸術スポーツ系) 芸術、芸能文化、体育、スポーツ健康科学
- グローバル人材の育成
スーパーグローバルハイスクール (SGH) 事業(再掲)
国際バカロレア (日本語ディプロマ) 認定

<専門学科>

- 社会のニーズに応じた実践的な職業教育
SPH指定校の取組を例として紹介する。

【農業】福岡県立福岡農業高校

都市園芸に関する専門的な技術及び技能と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成

- ・ 大学や農業研究センターと連携し、先端技術を導入した栽培実験・実習により栽培管理技術を向上させる。
- ・ 農業生産法人及び農業関連企業において経営的な視点や自立した農業経営に必要な経営方法を学ぶ。
- ・ 「食の6次産業化プロデューサー」の内容を学習し、栽培技術の向上だけでなく生産物の付加価値を高める企画や広報の在り方を研究する。
- ・ 産業現場で必要な資格を有し、活用できる人材を育成する。

【工業】千葉県立千葉工業高校

社会や地域のニーズを踏まえ、産学官連携のもとに、高度な科学技術に対応した科学的思考力を有し、モノづくりを通じて課題を解決する工学的センスとグローバルに活躍できる生徒を育てるプログラムの開発

- ・ 応用力と工学的センスを有し、工業に関する諸課題をグローバルな視点からも考えることができる生徒の育成を目指して、下記対応策を実践し、その効果を検証する。
 - 1 高度な科学技術に対応できる力と自発力の育成
 - 2 クロスカリキュラムを活用した効率的な学習カリキュラムの編成と反転授業の実践から、思考力・判断力・表現力の育成
 - 3 大学、企業と連携した高度先進科学・技術の学習を通して、「ものづくりの心」や「工学的センス」の育成
 - 4 外国人博士研究員 (Post Doctor) や修士学生等の協力により、グローバルな視点を身に付けさせる教育の推進

- 5 「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」を活用したインターンシップを実施することで、より生徒の目的意識、職業観、勤労観を育成

【商業】徳島県立徳島商業高校

Deep in Tokushima ～徳商版「地域創生」人材育成プロジェクト～

- ・ 地域コンサルタントの育成（地域のことをよく知り、様々な課題に対して柔軟に対応できる人材の育成）
- ・ 観光ガイド・商品開発力を持った人材の育成（地域の魅力を創出し、プロデュースできる人材の育成）
- ・ Glocal プロデューサーの育成（地域の魅力を世界に向けて発信できる能力を有し、人と人、企業と企業のネットワークを構築することができるグローバルなプロデューサーの資質を持つ人材の育成）

【家庭】岐阜県立大垣桜高校

CHANGE SAKURA～技と心で羽ばたけ グローバルクリエイター育成プロジェクト～

[服飾デザイン科]

グローバルな視野から服飾に関わるものづくりやビジネスを取り上げ、総合的にファッションを世界に発信していくことができるファッションビジネスリーダーやグローバルファッションクリエイターを育成する。

- ・ 地元の繊維関連企業が有する高度な技術力、デザイン力を習得
- ・ 企業と連携しオリジナルテキスタイルを制作し、オリジナルデザインの洋服の提案・商品化、ブランド化
- ・ 国内外のファッション関連学校と連携し、最先端のファッション動向を把握

[食物科]

食文化の伝承や、よりよい暮らしを支え、健康的な「食」の企画・提案を行うなどの実践的な活動を通して、地域の食文化の発展に寄与するフードクリエイターを育成する。

- ・ 産学官の関係機関と連携して食のニーズを調査・分析し、地域農産物の特徴を生かしたオリジナルレシピや、商品・サービスの開発、食生活の改善等の提案
- ・ 食産業界で活躍している専門家を招聘し、講演会や講習会を開催、産業現場実習を実施

新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成17年4月 1日
一部改正 平成18年7月12日
一部改正 平成21年4月 1日
一部改正 平成27年4月 1日

(設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校（以下「新高校」という。）の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会（以下「委員会」という。）を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
 - 二 新高校の施設・設備に関すること
 - 三 新高校への円滑な移行に関すること
 - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

(組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校（以下「再編等対象校」という。）の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
- 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

(補足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

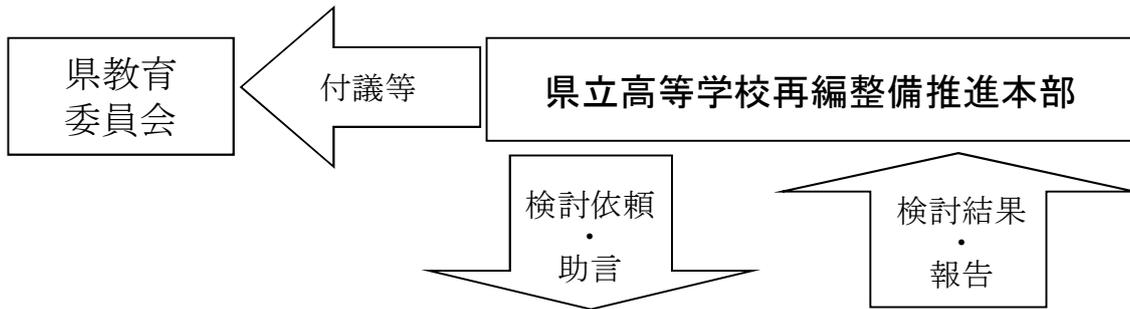
別表（第1条関係）

委 員 会 名	再 編 等 対 象 校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校

資料6 鹿島地区新高校設置準備委員会委員構成

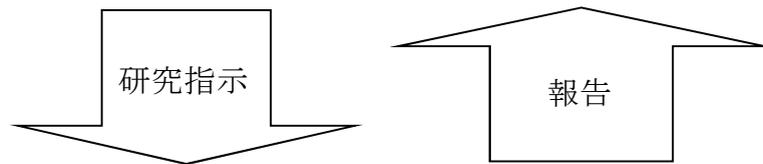
No.	所属・職名	氏名	備考	
1	鹿島高等学校 校長	角 敬一郎	委員長・学校関係者	
2	鹿島実業高等学校 校長	渡辺 孝一	副委員長・学校関係者	
3	鹿島高等学校 教頭	今田 康光	学校関係者	
4	鹿島実業高等学校 教頭	中島 淳		
5	鹿島市教育長	江島 秀隆	鹿島市	市町関係者
6	鹿島市総務部長	橋村 勉		
7	嬉野市教育長	杉崎 士郎	嬉野市	
8	白石町教育長	江口 武好	白石町	
9	太良町教育長	松尾 雅晴	太良町	
10	鹿島高等学校 同窓会代表	矢野 善紀	地元関係者	
11	鹿島実業高等学校 同窓会代表	小池 幸照		
12	鹿島高等学校 PTA代表	岡田 和人		
13	鹿島実業高等学校 PTA代表	藤永 一男		
14	鹿島市立西部中学校長	白仁田 茂	中学校関係者	
15	鹿島市立東部中学校長	植松 正鋼		
16	副教育長（教育情報課長）	福田 孝義	県教委関係者	
17	教育政策課長	八谷 幸浩		
18	教職員課長	福地 昌平		
19	学校教育課長	松尾 敏実		
20	保健体育室長	三上 智一		
21	教育支援課長	源五郎丸 靖		
22	県立高校再編整備推進室長	甲斐 照章		
23	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰		
事務局	鹿島高等学校教諭	久野 直樹		
	鹿島実業高等学校教諭	梶原 圭介		
	県立高校再編整備推進室 企画主査	高山 裕樹		

鹿島地区新高校設置に向けた検討体制



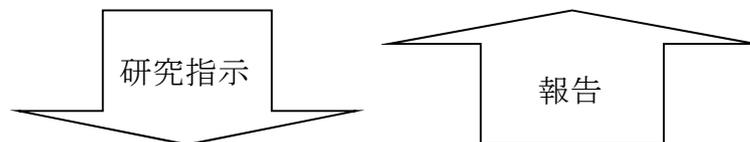
■鹿島地区新高校設置準備委員会（H27. 4月設置）

- 委員構成
 - ・両校関係者（教職員）
 - ・地域関係者（市町、高校PTA・同窓会、中学校長代表等）
 - ・県教育委員会
- 所掌事項
新高校の教育内容及び管理運営等、施設・設備、新高校への円滑な移行等

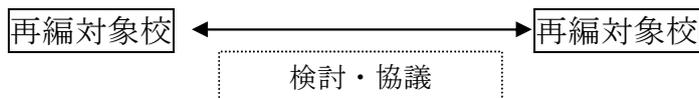


■鹿島地区新高校作業部会

- 委員構成 両校の教頭・担当者、県教育委員会担当者（事務局含む）
- 検討事項
委員会の所掌事務のうち研究指示事項



■校内検討委員会



- 検討事項
作業部会の検討事項のうち研究指示事項